

1 事業概要

		課名	環境課	事業No.	146
事務事業名		環境汚染対策事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始	終了	継続
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる	
	分野別計画			飯田市環境基本計画（21'いいだ環境プラン）	
法令・例規等			環境基本法		
			騒音規制法		
			悪臭防止法		
事業目的	対象	市民の生活環境			
	意図	環境汚染が発生しない良好な生活環境を維持する			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	◇簡易浄化槽の適正な管理推進のため啓発・指導を実施しました。◇市内主要河川の水質検査実施により汚染状況を把握しました。◇地下水(井戸水)の水質等の把握しました。あわせて、リニア中央新幹線工事に伴う地下水への影響、関係地の地下水水位等の把握を行いました。◇自動車騒音、悪臭、その他の測定による実態の把握を行いました。◇環境汚染が発生した際には、長野県をはじめ関係機関と連携し迅速適切な対応を行いました。◇行政代執行により保管していた一般廃棄物(断熱材ウレタンフォーム)の処分を実施しました。		生活雑排水汚泥汚泥処理関連経費				1,111	
			河川水質保全関連経費				3,265	
			地下水水質管理関連経費				2,005	
			騒音・悪臭その他公害防止関連経費				5,977	
		その他の経費				0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	生活雑排水汚泥汲取量	kl	218.5	108.5				
	河川のBODの目標の達成率	%	97.7	100				
	市が幹旋する井戸水検査受検世帯数	世帯	180	183				
	騒音の環境基準達成率	%	70	60				
	悪臭の防止目標の達成率	%	100	100				
	微小粒子状物質 (PM2.5) の現状と動向	基準達成・未達成		達成				
29年度 決算 (千円)	予算額	14,069	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	12,358						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	12,358							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	11	2	2,607	1,111	生活雑排水汚泥処理事業費
2	1	4	1	5	11	3	3,427	3,265	河川水質保全事業費
3	1	4	1	5	11	4	2,045	2,005	地下水水質管理事業費
4	1	4	1	5	12	1	5,990	5,976	騒音・悪臭その他公害防止対策費
5									
6									
7									
振り返り課題認識		生活雑排水汚泥の汲み取りや井戸水の検査などについては、依然として必要とされているものの、社会情勢の変化により必要総量に変化してきており、今後取り組み方針などについて見直しが必要と思われます。 河川汚濁（油類流出事案）や専用水道、アスベスト対策、エコパーク・ジオパークなど、環境課が主管課であることが適当であるか、検討がなされていない業務もあり、今後庁内での調整が必要と思われます。							
上記の課題解決のための有効策		活動指標の数値については、現状に即した見直しや修正を行います。 環境課が主管となっている業務について、法の性質や業務の内容などを精査し、必要であれば他課と調整を行います。							
次年度に向けての取り組み		生活雑排水汚泥の汲み取り事業や井戸水検査等水質保全のための取り組みは継続実施していきます。 引き続き市民生活環境の保全を心がけるとともに、リニア工事開始や社会環境変化などによる新たな公害の未然防止に努め、万が一発生した際には、速やかな処置に取り組みます。							